



「今がチャンス」

先週ある朝、手作りのマスクをしてきたお子さんが「これ、僕が作りました。」と紹介してくれました。キャラクター入りの布で仕上げたマスクに本人やご家族の気持ちを感じました。あるときは、図書貸し出しの帰りに「先生、鉄棒一回だけやってもいいですか？」「うんてい 一回だけいいですか？」との声も聞きました。今をプラスに変えてあげたいと思いました。

○保護者の方の得意なこと、好きなことが子どもの自信につながります。背中を押してあげてください。

例えば料理が好きになると高学年の家庭科で自信につながります。手芸も。リコーダーや鍵盤ハーモニカは音楽科で役に立ちます。アルファベットの読み書きは高学年や中学校で役立ちます。読書は全ての教科の土台となります。歩くことや走ることは全てのスポーツの基本です。なわとびはリズムとバランス、タイミングが鍛えられます。卓球もバドミントンもリフティングも瞬発力や巧みさの向上に役立ちます。プログラミングは論理的な思考力につながっています。手作りのマスクや折り紙を作って誰かにプレゼントするのもすばらしいですね。だれかの役に立つことの大切さを学べます。「楽しみながら」はじめは「3分」でもよいのでとにかく続けてみましょう。今がチャンスです。

……と言うのも

保護者の方からは「運動不足です。」「子どものストレスがたまっています。」「たいくつしています。」「ゲームばかりやっています。」「夜遅くまで起きています。」などの率直な声を聞いているからです。

ここがチャンスになると私は考えています。時間がたっぷりあることに加え、ご家族が先生となってそばで応援して下さるからです。小さなことも継続さえできれば確実に子どもの自信になります。

今がチャンス。「できた。」「続けられた。」という満足感を味わわせてあげられたらきっと次へのエンジンとなります。ぜひ積み重ねを見える化し、実感させてあげてください。

子どもたちの主体的な取組を皆で応援しましょう。

